

## 東日本大震災により亡くなられた方々に対し、心よりご冥福をお祈り申し上げます。

平成 23 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災（マグニチュード 9.0）は、東北地方をはじめ北海道から関東地方までの広範な地域において甚大な被害をもたらしました。

特に、この地震による津波は、想像をはるかに超えた被害を東日本の太平洋沿岸にもたらし、容赦なく漁村を飲み込み、言語を絶する破壊的惨状となりました。さらに、福島第一原子力発電所の放射能漏事故は、直接的被害だけでなく、各地の漁業に対して風評被害をもたらす事態へと発展し、被災地はもとより漁業全体の問題として、短期間では回復できない深い爪あとと重い課題を残しました。

東日本大震災から約 2 年半を経過した今、東日本大震災によるこれまでの JF 共済の対応について振り返っていくこととします。

### ■共済金の支払状況

平成 25 年 3 月末現在の共済金の支払額は以下のとおりです。

（上段；人数・件数、下段；支払共済金）

生命共済				損害共済		合計
チョコー	ノリコー	漁業者ねんきん	ダンシン	くらし	カサイ	
11 百人	2 百人	0.9 百人	0.1 百人	83 百件	46 百件	144 百件
62 億円	22 億円	0.01 億円	0.3 億円	136 億円	16 億円	239 億円

### 【共済金の見込額】

JF 共水連では、東日本大震災発生後すぐに JF と協力して被害調査を行い、また公表された情報や航空写真等によって損害を推定し、総額 240 億円（生命共済 90 億円、損害共済 150 億円）の共済金支払を見込みました。

この支払見込額については、再保険金、異常危険準備金、さらに特別積立金等の取崩しにより、平成 22 年度決算において全額を準備しました。

### ■平成 24 年度「がんばろう漁村 浜の応援団キャンペーン」

JF 共済では、東日本大震災により被害を受けた漁業・漁村の一日も早い復旧・復興のために、そしてわが国の漁業に甚大な被害を与えた震災を風化させないために、平成 24 年度「がんばろう漁村 浜の応援団キャンペーン」を実施してきました。

※「がんばろう漁村 浜の応援団キャンペーン」の内容

キャンペーン期間中のチョコー新規契約 1 件につき 100 円（27,923 件）、くらし新規契約 1 件につき 50 円（7,623 件）等を支援金とした。

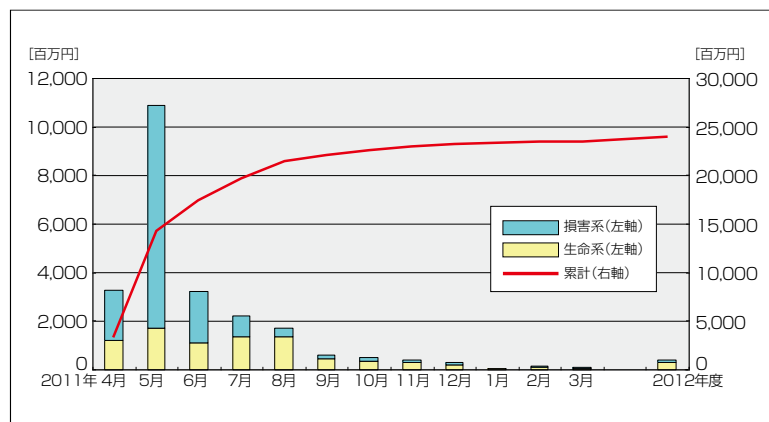
キャンペーンによる支援金（4,093,290 円）は、漁業や漁村の復興や漁業の担い手育成などに資する活動を実践する漁協の女性部・青年部等に寄贈しました。

## JF 共済における震災対応（とりまとめ）

JF 共済では、東日本大震災直後に、災害対策本部を立ち上げ、被災地との連携等の活動を実施してきました。

### ■ 共済金支払の進捗状況

月別・累計の支払共済金の推移は、次のとおりです。震災後 5 か月間にほとんどの共済金をお支払いすることができました。



### ■ 共済契約への対応状況

#### ① 共済契約に対する措置

被害にあわれたご契約者の共済契約について次の措置を講じました。

- 【長期共済】 ○ 払込猶予期間の延長  
○ 共済掛金の振替貸付における利息の免除  
○ 共済金請求等の手続きの簡素化

- 【短期共済】 ○ 更改手続き、共済掛金払込みの延長

#### ② 契約フォロー活動

被害にあわれたご契約者の共済契約の継続、共済掛金払込みの案内、ご契約内容の見直し等を行うため、ご契約者を訪問する「契約フォロー活動」を実施しました。

#### ③ 共済金支払業務支援

早期に、円滑に共済金支払を行うため、JF と JF 共水連が一丸となって初動対応や損害調査を実施しました。特に、現場調査支援、共済金支払業務支援等に JF 共水連本所・事務所等の職員延べ 42 人を現地に派遣しました。

### ■ JF 共水連の支援活動

#### ① 義援金募集活動

JF 共水連では、復旧・復興を祈念するため 3 月 11 日を忘れえぬ日とし、毎月 11 日に「がんばろう東北がんばろう漁村ー JF 共済街頭募金活動」を 1 年間実施しました。このほか JF 共済の諸会議等での義援金募金活動とあわせて総額 5,900 万円の義援金を集め、被災地に提供しました。

#### ② 救援支援物資の提供

JF グループ東北地方太平洋沖地震漁業・漁村災害・復興対策本部と協調しつつ、救援支援物資の調達を行いました。JF 共水連が提供した物資の調達額は、約 7,100 万円になっています。